
2011年3月期 第1四半期 決算説明資料

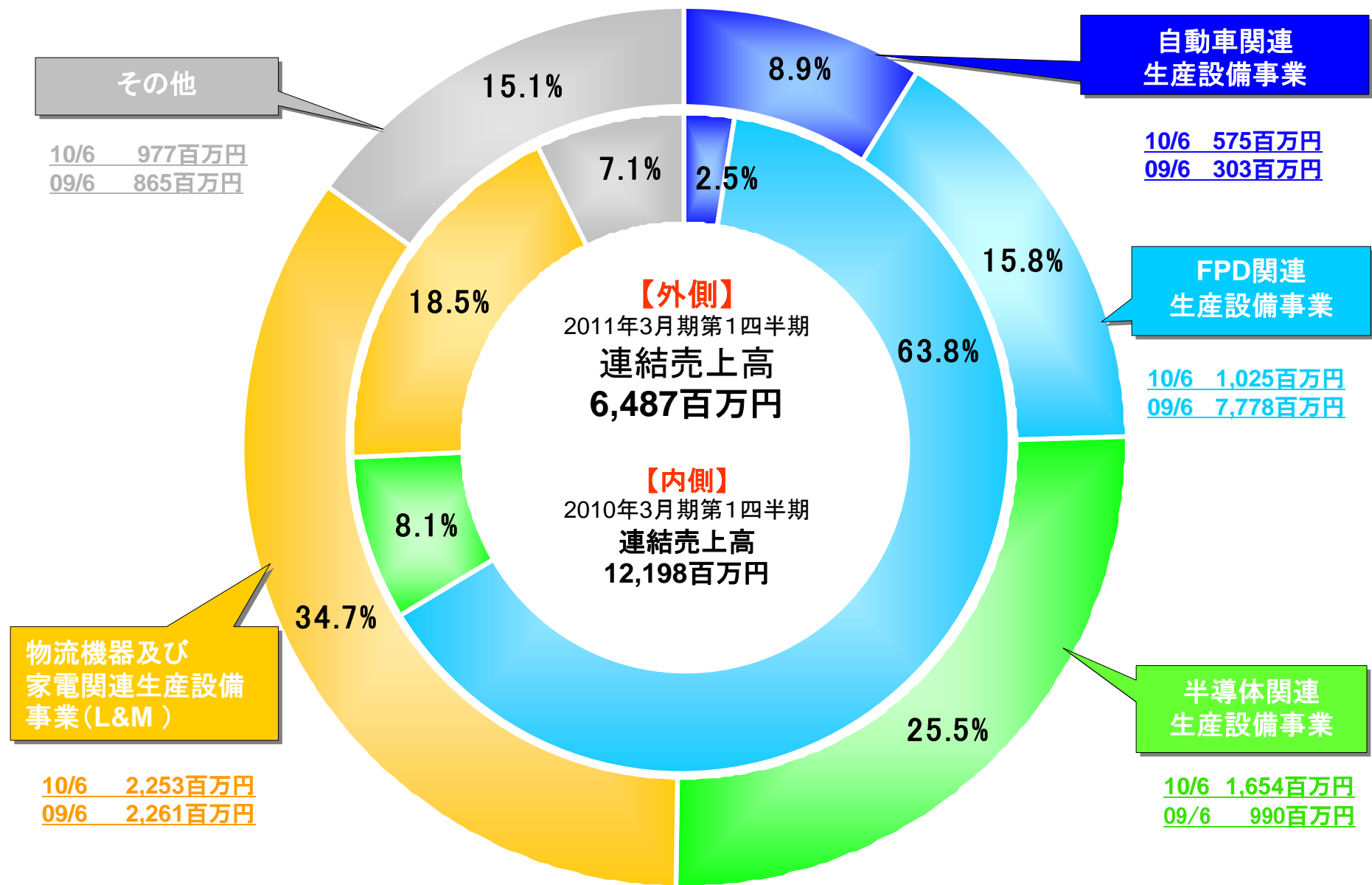
平田機工株式会社 2010.8.10



I 決算状況

2011年3月期 第1四半期（2010年6月30日）

I 決算状況 事業部門別売上高構成比



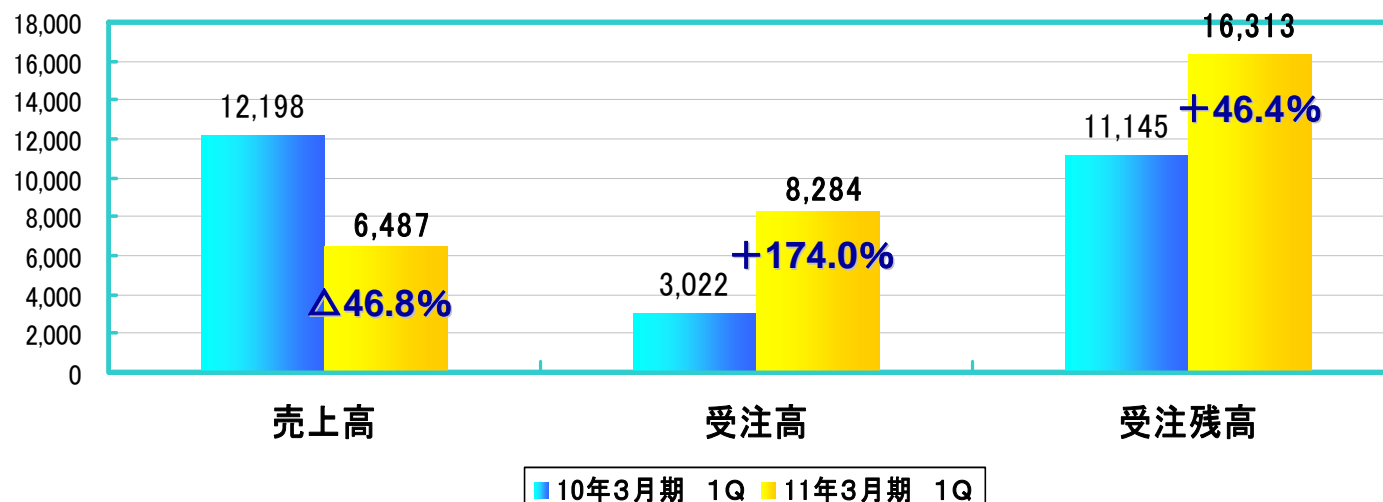
I 決算状況 決算概要

決算概要

- 売上高は、自動車関連市場が未だ本格回復に至っていないことやFPD関連が低調に推移したことなどから減少。連動して利益も減少した。
- 受注高は、半導体関連やタイヤ関連の好調さにより大幅に増加、受注残高も増加となる。

(単位:百万円)

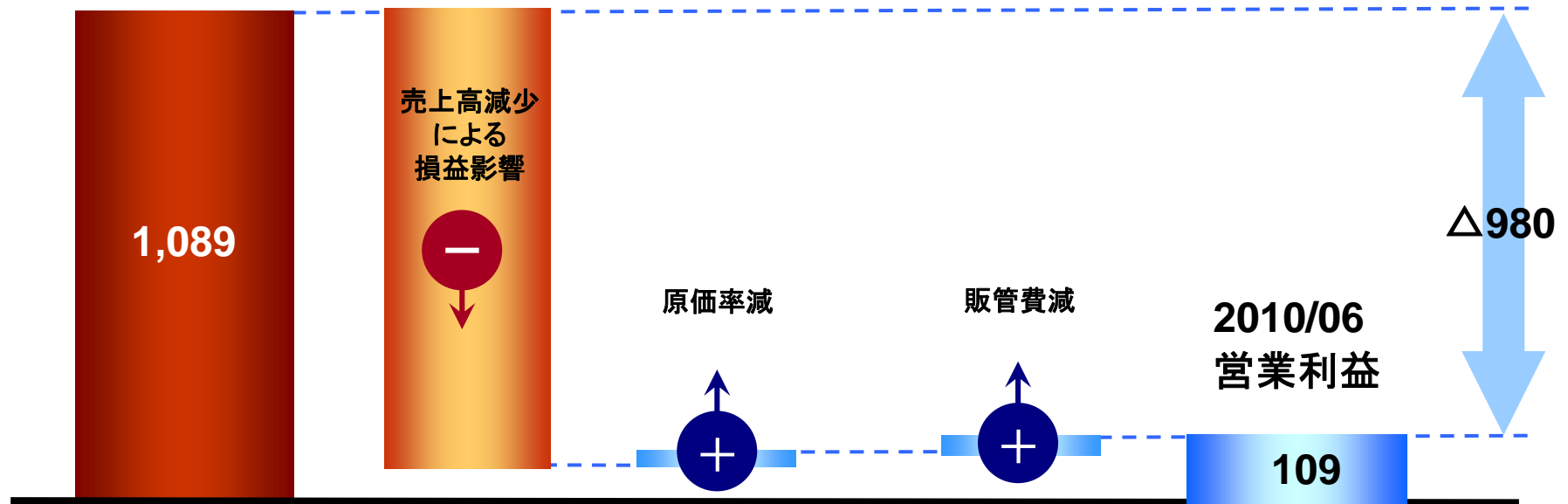
| 連結決算 | 2010年3月期 第1四半期 実績 | 2011年3月期 第1四半期 実績 | 増減率 |
|--------|----------------------|----------------------|--------|
| 売上高 | 12,198 | 6,487 | △46.8% |
| 営業利益 | 1,089 | 109 | △89.9% |
| 経常利益 | 1,060 | 4 | △99.6% |
| 四半期純利益 | 683 | 34 | △95.0% |



I 決算状況 営業利益の増減要因分析

(単位:百万円)

2009/06
営業利益



I 決算状況 事業部門別実績 連結売上高

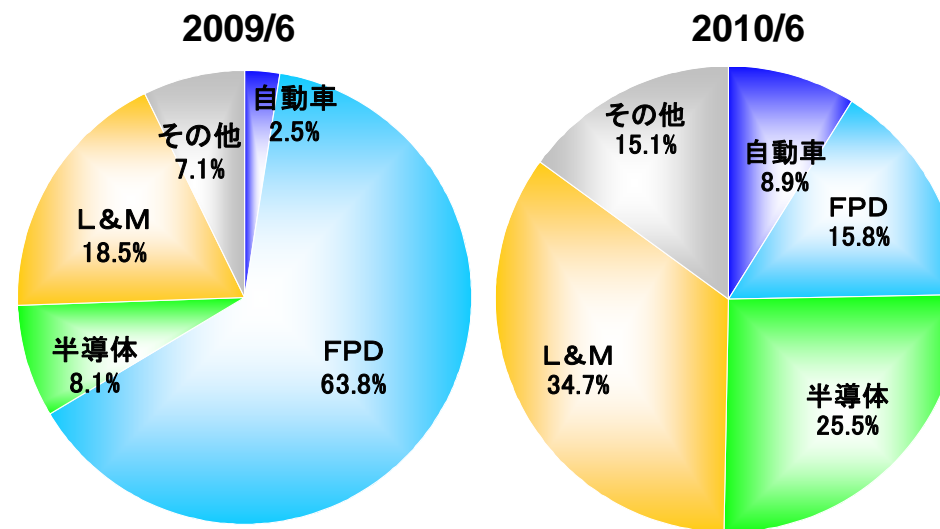
■ FPD関連が減少したが、半導体関連は大型案件の売上も増え、増加。L&Mはタイヤ関連が堅調。

- ・ 自動車関連設備 : 米国向けの売上などにより増加(+89.3%)
- ・ FPD関連設備 : 複数の大型案件を売り上げた前年同期との比較では大幅減少(△86.8%)
- ・ 半導体関連設備 : 市場の回復により、大型案件の売上も増え、大幅増加(+67.1%)
- ・ L&M関連設備 : タイヤ関連が堅調であり、前年同期並みで推移(△0.3%)

事業部門別売上高の状況

単位:百万円

| 事業部門 | 2009/6 | 2010/6 | 対前年同期比 増減率 |
|------|--------|--------|---------------|
| 自動車 | 303 | 575 | +89.3% |
| FPD | 7,778 | 1,025 | △86.8% |
| 半導体 | 990 | 1,654 | +67.1% |
| L&M | 2,261 | 2,253 | △0.3% |
| その他 | 865 | 977 | +13.0% |
| 合計 | 12,198 | 6,487 | △46.8% |



I 決算状況 事業部門別実績 地域別連結売上高

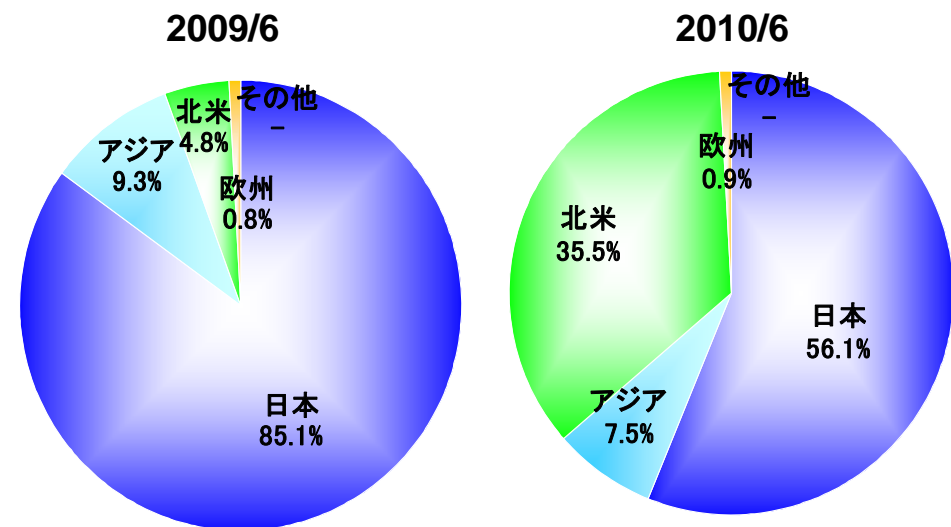
■タイヤ関連の好調さに加え、自動車関連の案件売上で北米向けが大幅増加。

- ・ 国内向け : 太陽電池関連、半導体関連などが好調だが、FPDの大型案件を売り上げた前年同期比では減少(△64.9%)
- ・ アジア向け : FPD関連が好調であった前年同期との比較では減少(△57.3%)
- ・ 北米向け : タイヤ関連に加え、自動車関連の売上により約3倍の増加(+295.2%)
- ・ 欧州向け : 同地域の景況回復が遅れ、減少(△40.1%)

地域別売上高の状況

単位:百万円

| 地域 | 2009/6 | 2010/6 | 対前年同期比 増減率 |
|-----|--------|--------|---------------|
| 日本 | 10,378 | 3,641 | △64.9% |
| アジア | 1,135 | 484 | △57.3% |
| 北米 | 582 | 2,300 | +295.2% |
| 欧州 | 102 | 61 | △40.1% |
| その他 | — | — | — |
| 合計 | 12,198 | 6,487 | △46.8% |



I 決算状況 事業部門別実績 連結受注高

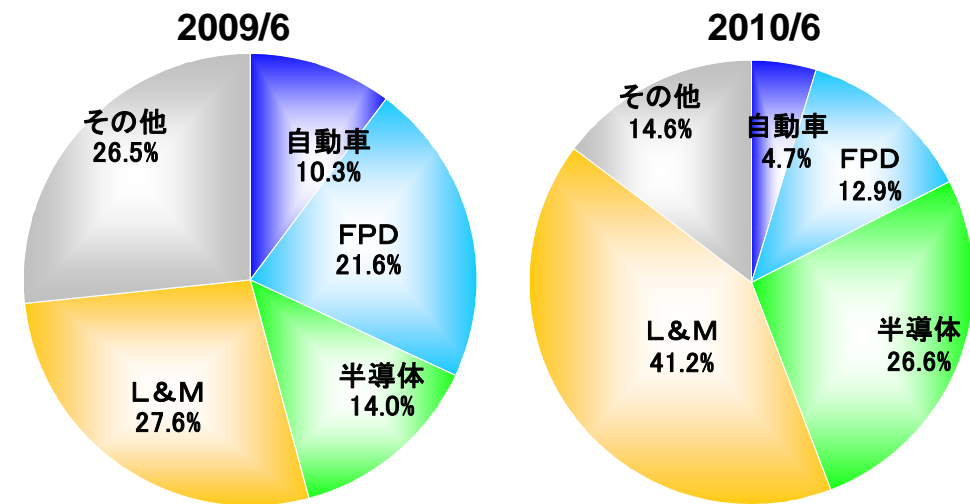
■市場回復を背景に各事業部門とも順調に増加。

- 自動車関連設備 : 本格的な回復には至っていないが、前年同期比では増加(+26.2%)
- FPD関連設備 : ヘッドコーターなどの受注確保により増加(+63.2%)
- 半導体関連設備 : 市場回復により大型案件の受注も増え、5倍超の増加(+422.0%)
- L&M関連設備 : TV関連やタイヤ関連の受注確保により4倍超の増加(+308.9%)

事業部門別受注高の状況

単位: 百万円

| 事業部門 | 2009/6 | 2010/6 | 対前年同期比 増減率 |
|------|--------|--------|---------------|
| 自動車 | 311 | 392 | +26.2% |
| FPD | 652 | 1,064 | +63.2% |
| 半導体 | 422 | 2,207 | +422.0% |
| L&M | 834 | 3,411 | +308.9% |
| その他 | 802 | 1,208 | +50.6% |
| 合計 | 3,022 | 8,284 | +174.0% |

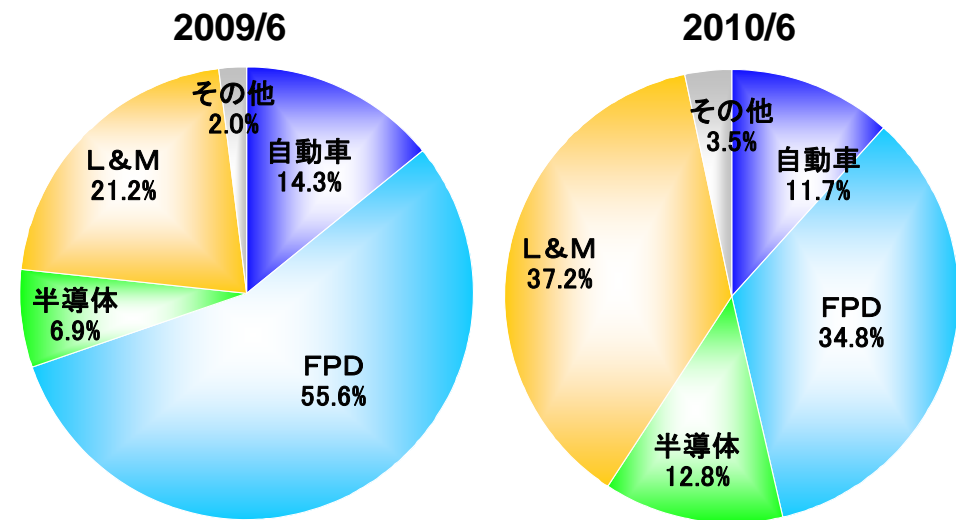


I 決算状況 事業部門別実績 連結受注残高

■FPD関連のみ、やや減少したものの、他の各事業部門は増加し、全体では46%の増加。

事業部門別受注残高の状況 単位: 百万円

| 事業部門 | 2009/6 | 2010/6 | 対前年同期比 増減率 |
|------|--------|--------|---------------|
| 自動車 | 1,587 | 1,901 | +19.8% |
| FPD | 6,196 | 5,673 | △8.4% |
| 半導体 | 771 | 2,094 | +171.6% |
| L&M | 2,366 | 6,077 | +156.8% |
| その他 | 223 | 565 | +153.3% |
| 合計 | 11,145 | 16,313 | +46.4% |



GM社より約50億円のエンジン組立ラインを受注

■ 概要 ■

7月20日、米国 General Motors Corporation(以下「GM社」)から新型エンジン組立ラインの大型案件を受注した件について公表しました。

今回受注した設備は、GM社が戦略的に開発を進める直噴エンジン技術と最先端燃焼システムを採用した低燃費エンジンを生産するための組立ラインであり、これまで当社が築いてきた技術力や品質が評価されて、受注につながったものです。

GM社は昨年7月以降、北米地区22施設に総額23億ドルを超える投資を発表しており、当社の受注案件は本年4月に発表された、クリーンで低燃費のエンジン生産に向けた8億9千万ドルの投資の一部です。

尚、当案件の受注高は約50億円で、2011年3月期から2013年3月期にかけて、工事進行基準により売り上げる予定です。

Ⅲ 市場動向および 2011年3月期業績の見通し

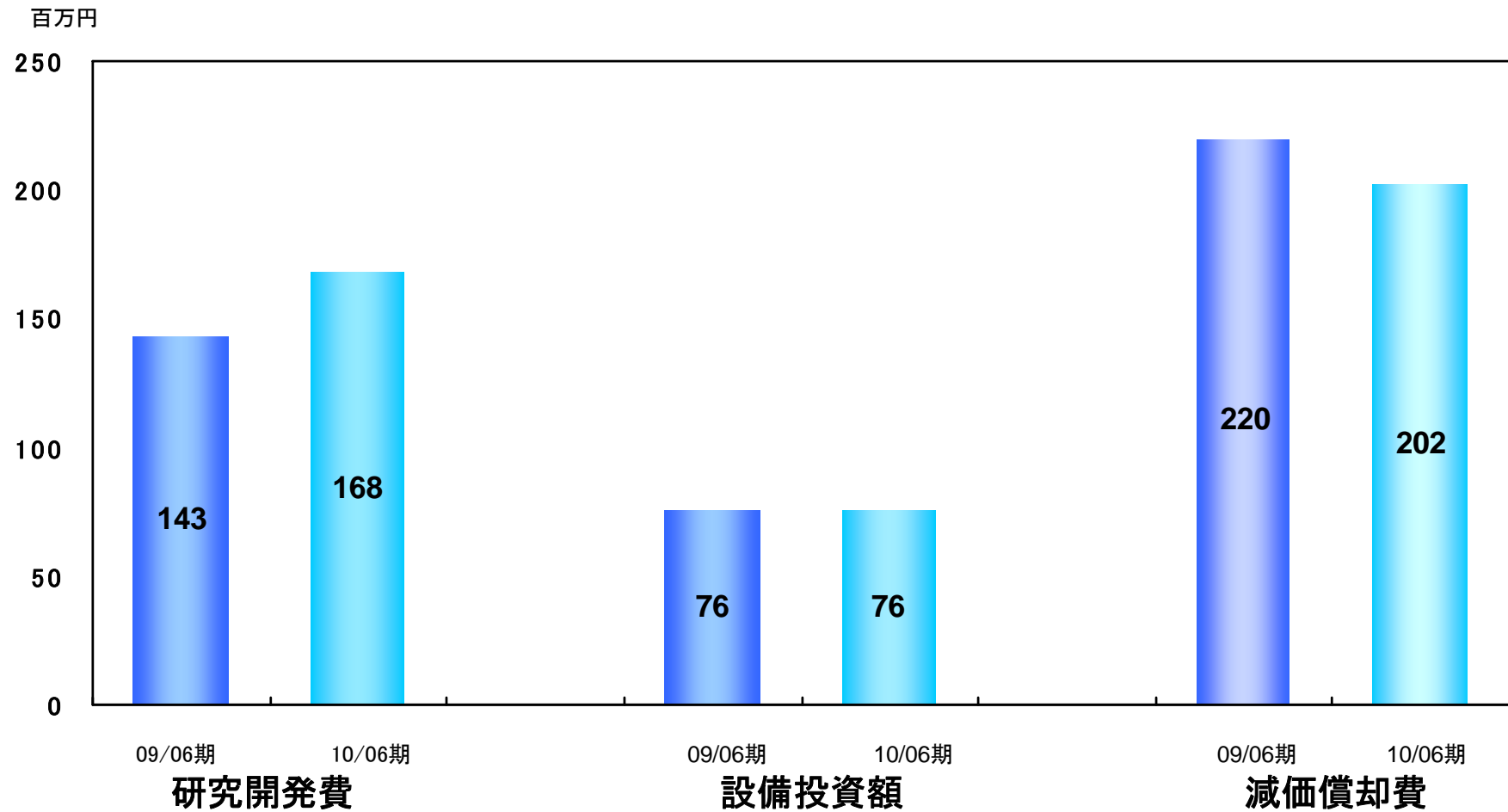
※業績予想に変更はありません。

(単位:百万円)

| | 2010年3月期 実績 | 2011年3月期 | | | |
|----------|----------------|----------|----------|----------|------------|
| | | 上期 | 下期 | 通期 | 前期比 増減率 |
| 売上高 | 33,455 | 17,000 | 17,000 | 34,000 | +1.6% |
| 自動車関連 | 4,240 | | | 6,000 | +41.5% |
| FPD関連 | 14,520 | | | 11,100 | △23.6% |
| 半導体関連 | 4,431 | | | 4,500 | +1.6% |
| L&M関連 | 7,322 | | | 8,600 | +17.4% |
| その他 | 2,941 | | | 3,800 | +29.2% |
| 営業利益(率) | 364(1.1) | 100(0.6) | 200(1.2) | 300(0.9) | △17.7% |
| 経常利益(率) | 180(0.5) | — | 100(0.6) | 100(0.3) | △44.7% |
| 当期純利益(率) | 43(0.1) | 100(0.6) | 25(0.1) | 125(0.4) | +184.7% |

IV 参考資料

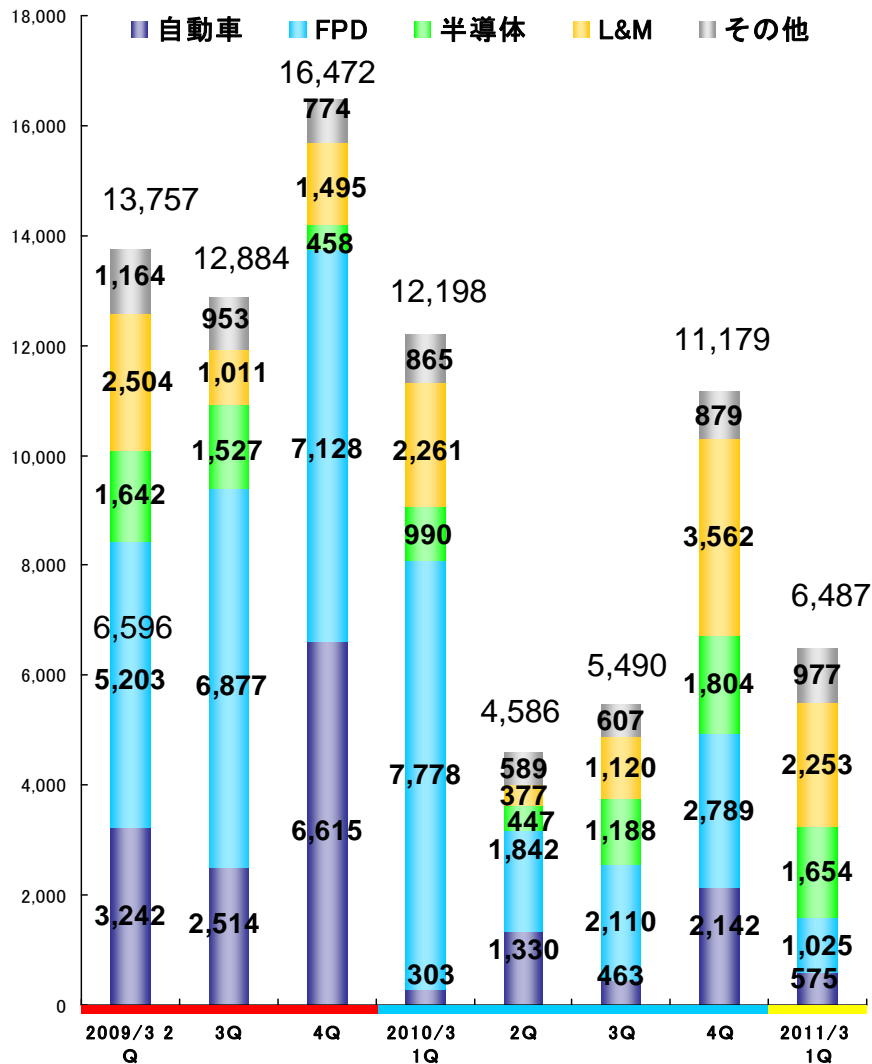
2011年3月期 第1四半期（2010年6月30日）



IV 参考資料 事業部門別・地域別四半期推移(売上高)

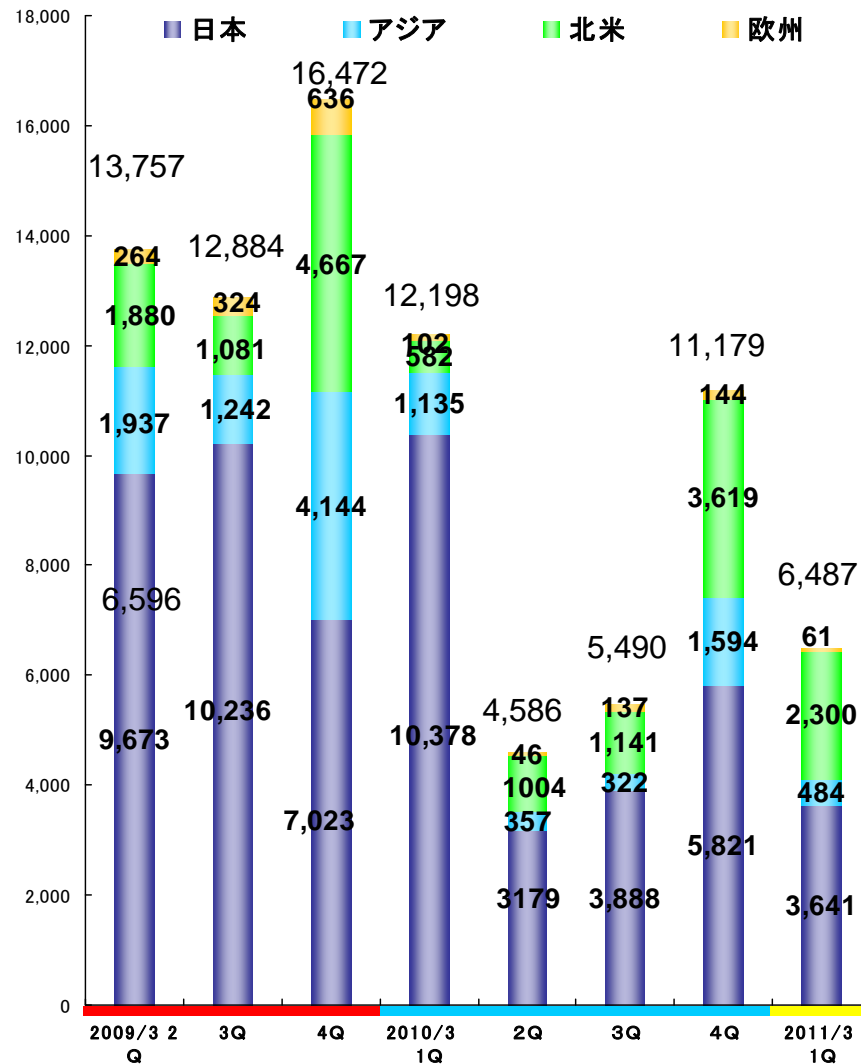
事業部門別四半期売上高の推移

百万円



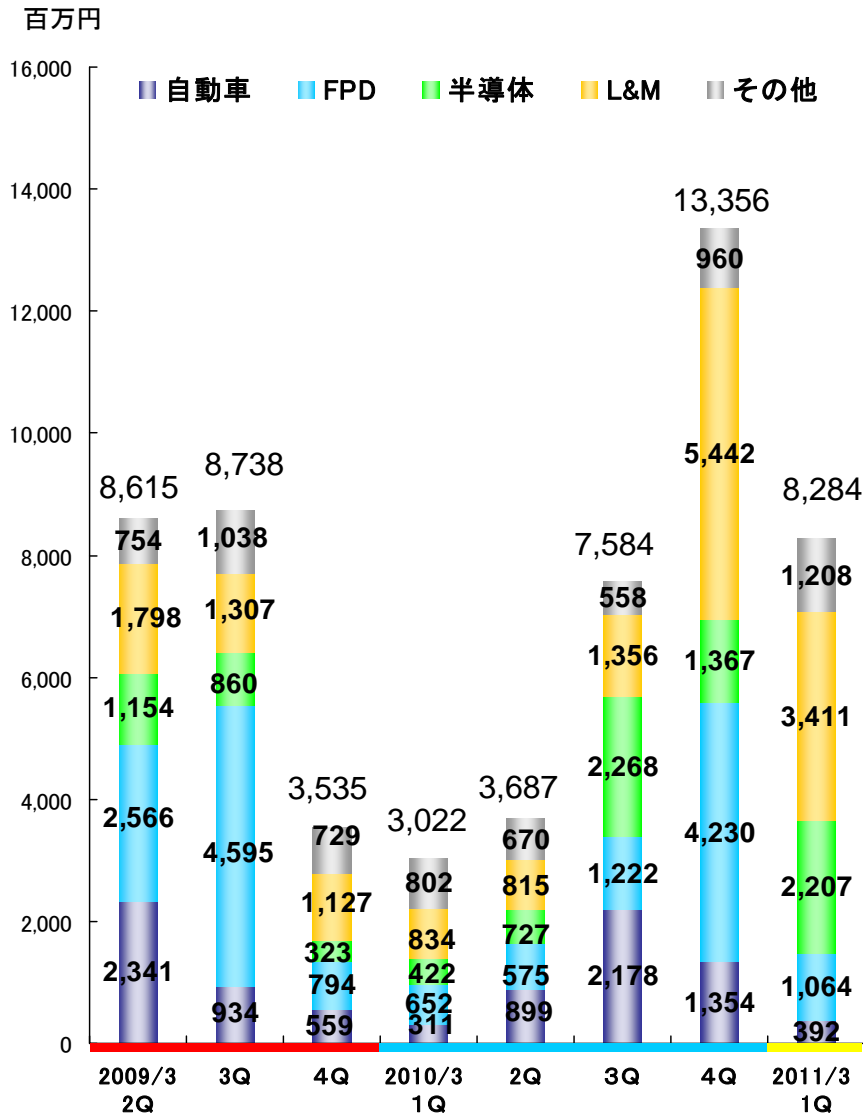
地域別四半期売上高の推移

百万円

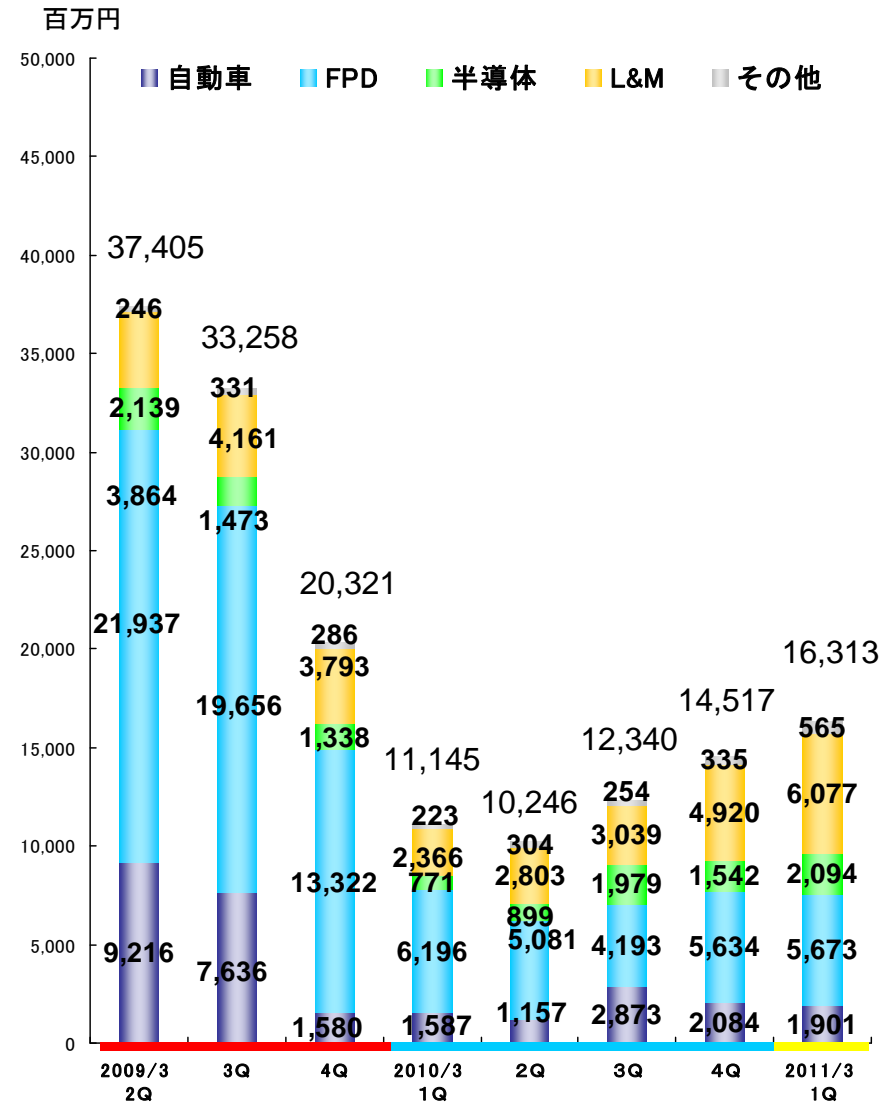


IV 参考資料 事業部門別四半期推移(受注高・受注残高)

事業部門別四半期受注高の推移

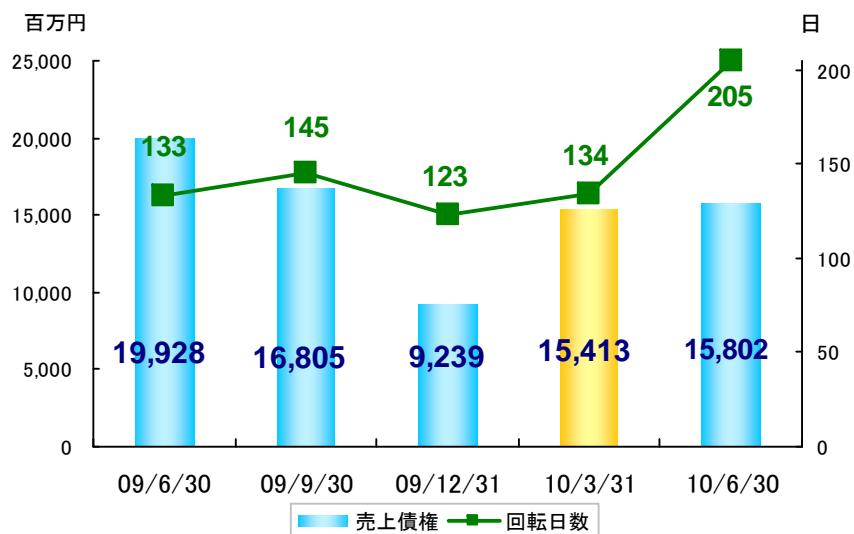


事業部門別四半期受注残高の推移

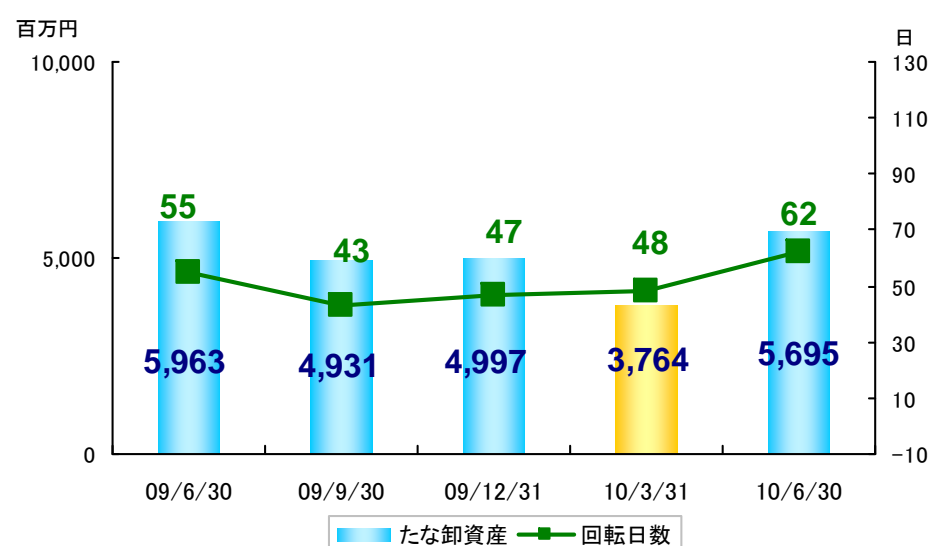


IV 参考資料 主要指標

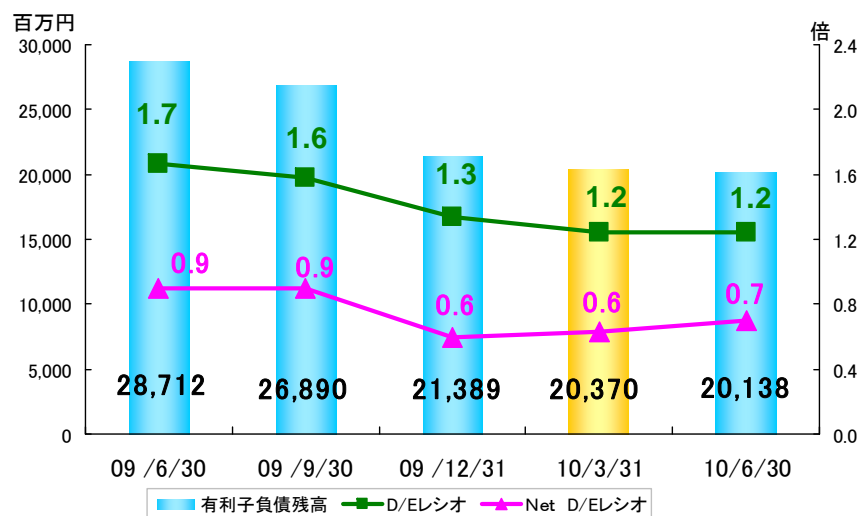
売上債権・売上債権回転日数



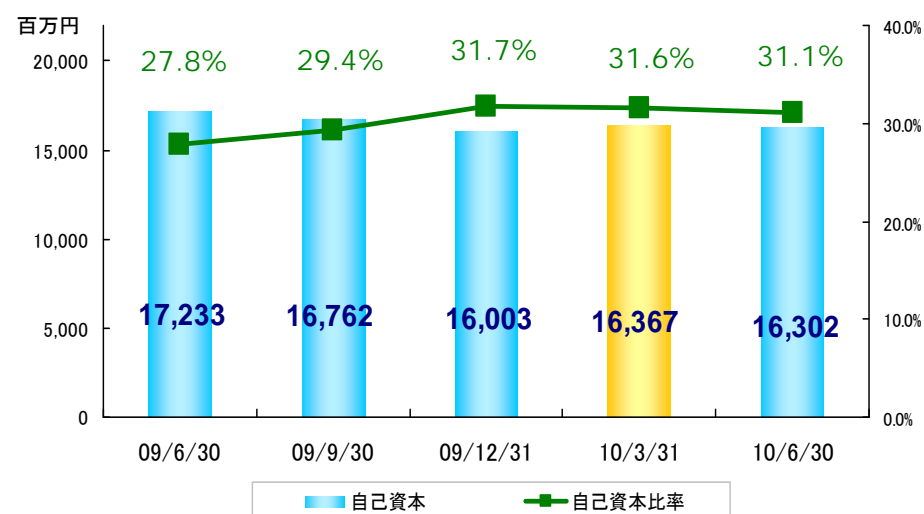
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/ELシオ・Net D/ELシオ



自己資本・自己資本比率



注) 売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期の期中平均値にて算出しております。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。